



小学生からの質問に答える大道選手(左)と中道選手(右)

## 「目標に向かって」

### 十和田の小学生と交流

八戸学院大学の硬式野球部員で、プロ野球広島と仮契約を結んだ大道温貴(はるき)投手(21)と、ソフトバンクから育成2位で指名を受けた中道佑哉投手(22)と十和田市出身の14日、十和田市屋内グラウンド「こまかいどーむ」で、同市の少年野球チームに所属する小学生と交流した。

同大学の主催で、少年選手約40人と保護者が参加。中道投手が小学生のころに所属していた「十和田スリー☆スターズ(旧・十和田北園クラブ)」の後輩たちも集まった。

少年選手から「野球をしている時、どんな気持ちですか」と質問されると、大道投手は「子どものころからずっと野球は楽しい。今の自分に満足せず次の目標に向かって頑張ることが大事」とアドバイス。中道投手も「プレーしている中で、常にいろんな発見があり、おもしろいと思っている」と答えた。

(高木圭一)